

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名：舞鶴市

## 1. 平成25年度 行財政改革推進計画について【総括表】

計画の概要等	背景	人口減少の進行や、地域経済の低迷によって、税収は低調に推移することが見込まれるとともに、超高齢化社会の到来による財政需要の増加や、公共施設やインフラの多くが改修・更新を必要とする時期を迎えることなどを考慮すると、今後、財政構造が硬直化する傾向が強まるものと推測される。
	必要性	健全な財政運営を維持するためには、政策と施策・事業の整合性に留意し、“最小の投資で最大の効果を挙げる”ことを目指して、事務事業のあり方の見直しや組織風土の改革に引き続き取り組む必要がある。
	概要	「新たな舞鶴市総合計画」の目標達成に向けて、仕事改革の視点、組織風土改革の視点、直面する課題へ対応する視点を持ちつつ、常により良い方法・より高い成果を目指して、事務事業の見直しをはじめとする行財政改革を推進する。
	効果	本計画の推進により、様々な行財政改革の取り組みを一層拡大することにより、財政負担を軽減し、持続的・安定的な財政運営の構築を図る。

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名：舞鶴市

平成25年度行財政改革推進計画に伴う事業実績による行革効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	行革効果（単位：人・千円等）
小規模市町村支援				
広域連携事業支援	第27回中丹芸術文化祭負担金	<ul style="list-style-type: none"> <li>●開催事業</li> <li>①踊りとダンスの祭典（7/14）、②ジュニア文化祭（7/27）、③新進演奏家のタベ（8/3）、④中丹和太鼓フェスティバル（9/23）、⑤合同お茶会（9/28～29）、⑥中丹総合華道展（9/28～29）、⑦コーラスフェア2013（9/29）、⑧中丹写真展（10/5～6）、⑨短歌俳句川柳公募'13（11/17）、⑩邦楽のつどい（1/25） 全10事業</li> </ul>	出演者数：2,141人 入場者数：7,005人	8,171千円
	海フェスタ京都開催事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>●平成25年9月3日に設立総会を開催</li> <li>●「海フェスタ京都」開催趣旨に基づく事業計画の作成</li> <li>●「海の総合展」出展者の募集・意向調査</li> <li>●船舶の寄港・一般公開等の要請・了承</li> <li>●協賛金の募集</li> <li>●式典・海の総合展・広域周遊事業及び宣伝広告の委託業者選定（公募型プロポーザル方式：株式会社JTB西日本）</li> <li>●会場等の選定・確保</li> <li>●シンボルマーク、標語の公募</li> <li>●ポスター、リーフレット等の作成</li> <li>●専用ホームページの開設</li> <li>●メディア等を活用した広報活動</li> <li>●要望活動の実施（NEXCO中日本・NEXCO西日本）料金施策の実施等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「海の総合展」出展者 依頼件数：53件、出展件数：34件</li> <li>●船舶の寄港・一般公開等 護衛艦等の展示訓練、巡視船「だいせん」、海面清掃兼油回収船「Dr. 海洋」、海洋高校実習船「みずなぎ」、海洋調査船「平安丸」、練習帆船「海王丸」・「日本丸」、海洋調査船「かいらい」</li> <li>●協賛金申込口数：92口（460万円）</li> <li>●シンボルマーク応募数：308作品</li> <li>●標語応募数：1,088作品</li> <li>●ポスターB1版 200枚</li> <li>● " B2版 1,200枚</li> <li>●リーフレット 40,000部</li> <li>●メディア等を活用した広報活動（プレスリリースによる新聞記事掲載、FMラジオでの放送など）</li> </ul>	20,818千円

（記載要領）

- 1 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 2 「主な実績数値（出来高数値等）」、「行革効果」については、出来るかぎり数値化した客観的な指標を記載すること。

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

舞鶴市

## 2. 平成25年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分		事業名・実施項目	
広域連携事業支援		第27回中丹芸術文化祭負担金	
事業着手前			
課題・現状	中丹文化芸術祭は、中丹3市の各行政・各文化団体等が広域的に連携・協力して実施しており、今年度で27回目を迎える。また、数年前から丹後文化芸術祭や南丹地域との交流も図っている。こうした地道な取組の結果、中丹地域においても団体・個人による文化芸術活動の進歩・向上が進んできている状況にある。		
事業概要	中丹地域における唯一の広域文化芸術事業として、各種の文化芸術フェスティバルを開催することにより、平成23年度の国民文化祭京都開催を契機に気運醸成を図るとともに、育まれた活力を継続・発展させるため、広域的な交流を展開し、地域における文化活動の活性化と豊かな地域社会の発展を目指す。 また、地域住民における参加型事業として、各団体・個人の活動が広域かつ多岐にわたり様々な交流を重ねる中で、その創造的な文化芸術活動の進歩・向上に資する。		
期待される事業効果等	中丹3市が連携・協力して実施することにより、各市の多様な文化芸術活動の担い手の参画を可能にし、各団体・個人が広域かつ多岐にわたり様々な交流を重ねるとともに、その文化芸術的な進歩や参加住民のモチベーション向上など大きな効果が期待される。 また、行政をはじめ各団体・組織が、広域的に広報活動を展開することにより、観客動員数の増加に繋がる。		
事業実績			
取組状況	[開催事業] ①踊りとダンスの祭典(7/14)、②ジュニア文化祭(7/27)、③新進演奏家のタベ(8/3)、④中丹和太鼓フェスティバル(9/23)、⑤合同お茶会(9/28～29)、⑥中丹総合華道展(9/28～29)、⑦コーラスフェア2013(9/29)、⑧中丹写真展(10/5～6)、⑨短歌俳句川柳公募'13(11/17)、⑩邦楽のつどい(1/25) 全10事業		
主な実績数値 (出来高数値等)	出演者数:2,141人、入場者数:7,005人		
期待される事業効果等 に対する達成状況	達成	(左の理由)	中丹3市が連携・協力することで、参加市民のモチベーション向上を図ることができた。

行革効果

行革効果の考え方	3市が連携して事業を展開することにより、観客動員数の増加・共通経費の削減を図ることができる。								
年度	H23	H24	H25						
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	7,886	7,367	8,971						
本事業の実績額(b)	1,800	1,800	800						
行革効果(a)-(b)	6,086	5,567	8,171						

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。

# 京都府行財政改革支援等特別交付金 自己評価調書

団体名

舞鶴市

## 2. 平成25年度 行財政改革支援等特別交付金事業の個別評価について 【小規模市町村支援・広域連携事業支援用 個別表】

支援区分	事業名・実施項目
広域連携事業支援	海フェスタ京都開催事業
事業着手前	
課題・現状	<p>京都府北部地域では、古来より海から多くの恩恵を受け発展し、豊かな自然と歴史を背景に個性あふれる伝統文化、繊維、造船、ものづくりなど、多くの地域の産業や資源を築き育んできた。そうした多彩な資源を最大限に生かし、「海の京都」として質の高い観光圏とするため、京都府、北部5市2町一体となり、総合的かつ計画的な観光関連事業に取り組んでいる。</p>
事業概要	<p>上記「海の京都」を全国に発信するため、「海の恩恵に感謝し、海洋国日本の繁栄を願う日」として位置付けられた「海の日」を祝う「海フェスタ」を、平成26年度、国・京都府・府北部5市2町が一体となって開催する。開催を成功させるため、今年度実行委員会を設立し、推進体制の構築、事業計画の策定、市内外への情報発信等を行う。</p>
期待される事業効果等	<p>高速道路ネットワークや大型クルーズ船に対応できる京都舞鶴港が整備され、人・モノの流れが大きく変化する平成27年をターゲットイヤーとして、京都府北部地域を陸の京都と並ぶ「海の京都」として質の高い観光を提供することにより、交流人口の獲得、拡大を目指している。</p> <p>このような中で、海フェスタ京都を「海の京都」の中核事業として、国、京都府、府北部5市2町が連携し開催することで、美しい海と地域の伝統文化を後世へ引き継ぎ、京都府北部地域にある全てのものづくりの力の活性化に繋げることができる。また、海フェスタ京都開催期間中は全体で延べ100万人に上る集客を見込んでおり、前例の男鹿や尾道に倣えば、約30億円の経済効果が予想される。</p>

事業実績

取組状況  
及び主な実績数値  
(出来高数値等)

- 平成25年9月3日に設立総会を開催  
(設立趣意書や実行委員会規約など各議案が原案どおり承認され、多々見良三舞鶴市長が第11回海フェスタ実行委員会会長に決定)
- 「海フェスタ京都」開催趣旨に基づく事業計画の作成
- 「海の総合展」出展者の募集・意向調査(平成25年11月8日～26年3月末)  
依頼件数:53件、出展件数:34件
- 船舶の寄港・一般公開等の要請・了承  
護衛艦等の展示訓練(海上自衛隊舞鶴地方総監部)、巡視船「だいせん」(第八管区海上保安本部)、海面清掃兼油回収船「Dr. 海洋」(国土交通省近畿地方整備局)、海洋高校実習船「みずなぎ」、海洋調査船「平安丸」  
(以上、京都府)、練習帆船「海王丸」・「日本丸」((独)航海訓練所)、海洋調査船「かいいい」((独)海洋研究開発機構)
- 協賛金の募集(平成25年11月8日～26年3月末)  
申込口数:92口(460万円)
- 式典・海の総合展・広域周遊事業及び宣伝広告の委託業者選定  
・選定方法:公募型プロポーザル方式  
・審査日:平成25年12月18日  
・選定業者:株式会社JTB西日本
- 会場等の選定・確保  
式典、祝賀会、海の総合展、船舶の寄港にかかる会場確保、集客イベントにかかる駐車場確保
- シンボルマーク、標語の公募(平成25年10月17日～11月29日)  
応募作品数:シンボルマーク 308作品、標語 1,088作品
- ポスター、リーフレット等の作成  
ポスター:B1版 200枚、B2版 1,200枚、リーフレット 40,000部  
※ポスターについては、実行委員、近畿圏内海事関係団体、京都府関係機関、市町関係機関のほか京阪神のJR主要駅100か所に掲示
- 専用ホームページの開設
- メディア等を活用した広報活動(プレスリリースによる新聞記事掲載、FMラジオでの放送など)
- 要望活動の実施  
・NEXCO中日本 海フェスタ京都開催までの全線開通、料金施策の実施  
・NEXCO西日本 料金施策の実施

期待される事業効果等  
に対する達成状況

達成

(左の理由)

国、京都府及び府北部5市2町による連携・協力、並びに効果的な広報活動等を実施することができ、平成26年7月の「海フェスタ京都」の開催に向け、大きな足掛かりとなった。

行革効果

行革効果の考え方	5市2町が連携して事業を展開することにより、観客動員数の増加や、共通経費の削減を図ることが出来る。								
年度	H25	H26							
本事業を行わなかった場合に係る経費等(a)	24,288	80,000							
本事業の実績額(b)	3,470	30,000							
行革効果(a)-(b)	20,818	50,000							

(記載要領)

- 1 事業毎に調書を作成すること
- 2 「期待される事業効果等に対する達成状況」については、「達成」、「未達成」を記入し、その理由を右欄に記載すること。